

# 「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

**事業名** 消防団の更なる充実にに向けた体制確立事業

**自治体名**

青森県弘前市

**消防団名**

弘前市消防団

## 1 事業の目的・必要性

### (1)目的

令和4年度から継続実施している「ふれあいフェア」を消防事務組合や市内の大学等と連携実施することで、消防団の認知度向上及び入団促進を図る。また、消防団員管理システムを試験導入し、各分団の状況等を一元管理することで、機能別分団の創設等、団組織再編成を検討する一助とするとともに、管理事務の効率化に繋げる。

### (2)必要性

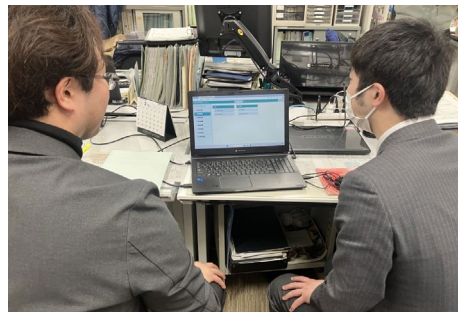
消防団の活動の周知やPRを兼ねたイベントを開催することで、消防団の必要性や役割について、理解を深めてもらうとともに、子どもと団員がふれあうことで、将来の消防団員獲得に向けた機運の醸成に繋がる。

さらに、消防団員管理システムの導入により、消防団情報の一元管理や、活動状況の見える化が可能となり、団組織の再編等を検討する一助となるとともに、事務効率化によりヒューマンエラーの防止に繋がる。

## 2 事業内容

多くの方に消防団活動をPRするため、市内イベント「食と産業まつり」において、3日間にわたりブース出展を実施した。消防団車両の試乗体験や縄、梯子、ラップの演技・演奏披露のほか、クイズコーナーも実施した。

また、消防団員管理システムを試験導入にあたり、公募型プロポーザル方式による契約事業者の選定を行い、課題管理表による複数回の調整を経て、消防団情報の管理等が一元的に管理できる管理システムを導入した。



## 3 事業成果

市内の大型イベントである「食と産業まつり」において、消防団のPRブースを開設し、来場者にはアンケートを実施した。

787名の方に回答をいただき、「消防団に加入してみたいですか」という質問に対し、119名(15.1%)は「したい」、606名(77.0%)は「したくない」でありました。

「どのようなメリット等があれば消防団に加入したいと思いますか」という質問に対しては、「報酬がもらえる」が366名(46.5%)、「割引等サービスを受けられる消防団応援の店がある」が169名(21.5%)おり、消防団の報酬制度が、まだまだ認知不足であるとともに、消防団員の処遇改善に向けた取組が、加入促進に最も効果的でないかと考えられます。

また、消防団員管理システムの導入により、消防団に係る名簿や車両の台帳管理が一元化でき、事務効率化が図られたほか、統計的資料を作成できるようになり、今後の組織再編等の検討に役立つと考えられる。

## 4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
検討会・打合せ	回数	5回	2回	広報媒体の作成に至らなかったが、総務省のリーフレット等の配布実績を計上
広告媒体	作成・配布数	2,500部	1,000部	
イベント実施	回数	1回	1回	
試験運用・調整	回数	3回	5回	

## 5 その他参考情報

